

みんなの健康ラジオ

『月経困難症①』

(2018年6月14日放送)

横浜市産婦人科医会

ユイ・レディースクリニック横浜

國井 優衣子

月経困難症の症状

- 下腹部の強い痛み
- 腰痛
- お腹の張り（腹部膨満感）
- 吐き気
- 頭痛
- 食欲不振
- 下痢
- 精神症状　イライラ　抑うつ

月経困難症の種類

①機能性月経困難症

原因	子宮の過収縮 子宮の入り口が狭い
年齢	10～20代前半
痛みの時期	月経1～2日目
痛みの性質	けいれん性・周期性

月経困難症の種類

②器質性（続発性）月経困難症

原因	子宮・卵巣の病気
年齢	20代後半以降
痛みの時期	月経期間中ずっと
痛みの性質	持続性

月経困難症 総論①

- 月経期間中に月経に伴って起こる病的な症状を月経困難症と呼びます。
- 月経困難症の症状は、下腹部の強い痛みや腰痛のほか、おなかの張り、吐き気、頭痛、食欲不振、下痢、イライラ、抑うつなどの症状が起こることもあります。
- 月経困難症には、機能性月経困難症と、器質性月経困難症の2つのタイプがあります。
- 機能性月経困難症とは、明らかな原因となる病気が見つからない場合をいいます。子宮の過収縮や子宮の入り口が狭いことが原因です。思春期の女子に多く、痛みは痙攣性、周期的であることが特徴です。
- 器質性月経困難症は、子宮内膜症や子宮筋腫、子宮腺筋症などの子宮や卵巣の病気が原因で起こります。20代後半以降に多く、加齢とともに増加します。自然治癒することではなく、原因に合った治療が必要になります。